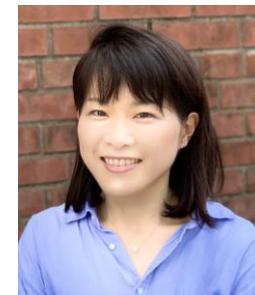


課題名：「技術構成主義」に立つ「生と死」をめぐる倫理の分析と社会的議論の啓発に向けた企画調査

代表者： 渡部 麻衣子（自治医科大学 医学部 講師）

参画機関： 一般社団法人あなたの医療, 金春宗家 ほか



課題概要

本企画調査では、ここで「技術構成主義」と呼ぶ視座に立ち、技術を通して、我が国における死生観を照射し、そこに顕在する倫理的課題を技術倫理の観点から論じる領野を開拓する。「技術構成主義」は、技術哲学において、技術の側が人の行為に介入することで社会的現実を構成することを分析の対象とする一つの潮流を指す。本プロジェクトでは、工学的、制度的、文化的な「技術」が、「生と死」という現象をどのように構成してきたのかを、超領域的な共同研究を通して明らかにする。そして、急速に発展する技術と共にあるポストコロナの社会における生と死のあり方について、社会の中で広く議論するための理論的及び実践的基盤を構築することを目指す。そのために企画調査においては、事例の分析を通して分析的視座を確立し、フィールドとの関係を築くと共に、能楽と現代美術の協働により、生と死をめぐる社会的議論を啓発するための場の形成を目指す。

ポイント

- 人文系と理系両方を含む多様な領域のメンバーが、それぞれの研究領域で、「技術構成主義」という概念を軸に、「生と死」や「生命観」のあり方の変容を考察中。
- 死生観に関わる先端技術開発を行っている企業でのインタビュー調査実施中。
- 死生観に関する能楽の新しい表象を模索する映像作品を製作中。
- 岩手県遠野市で集団としての死の受容を目的として生まれたと言われる民話や、習俗について調査を行い、映像やインスタレーション作品を製作中。
- 実施機関である自治医科大学のある栃木県を中心として、地方自治体や近隣大学との連携体制を拡大中。
- ミネルヴァ書房より関連書籍出版予定。

